

# 文教委員会参考資料

【令和5年度教育費予算 主要施策】

令和5年6月1日  
教育委員会事務局

# 教育委員会事務局

## <予算額>

問合せ先:庶務課 200-3260 内) 50101

115,566,499千円 (対前年度比: +3.4%)

## <主な事業>

### 「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

キャリア在り方生き方教育の推進 7,232千円

○「キャリア在り方生き方教育」について、キャリア在り方生き方ノートやキャリア・パスポートを活用しながら、小学校から高等学校までの計画的・系統的な実施に向けた取組を推進します。

確かな学力と豊かな心の育成に向けた取組 4,083,712千円

○一人ひとりの「生きる力」を伸ばしていくため、学ぶ意欲・態度を育むことを大切にしながら、「確かな学力」「豊かな心」を育てる取組を推進します。

・英語でコミュニケーションする機会の充実のため、ALT(外国語指導助手)を配置

・学校司書を配置している小学校を70校から92校に拡大(拡充)

・「かわさきGIGAスクール構想」の一層の推進と併せて、教育関係のシステム最適化に向けた各システムの現状調査の実施(新規)

・市学習状況調査の対象を小5・中2から小4～中3へ拡充し、全校で実施(拡充)

健康給食の推進 12,027,927千円

○野菜を豊富に取り入れ、食材や味付けにこだわった川崎らしい特色ある健康給食を実施します。

### 一人ひとりの教育的ニーズへの対応

特別支援教育の充実 1,277,688千円

○特別支援学校における医療的ケア児の通学支援を新たに実施します。(新規)

○中央支援学校高等部分教室及び大戸分教室の狭あい化等に対応するための整備に取り組みます。

○特別支援学級に外部人材を活用した介助・支援を実施します。(拡充)

○通級指導教室の支援充実に向けて、エリア拠点校を2校から3校に拡大します。(拡充)

○小・中・高等学校への特別支援教育サポーターの配置を拡充し、一人ひとりの子どもの状況に応じた支援の充実を図ります。(拡充)

児童生徒への支援と相談の場の充実 698,134千円

○スクールカウンセラー・スーパーバイザー、スクールソーシャルワーカー及び相談室の心理臨床相談員を増員するなど、児童生徒一人ひとりに寄り添った支援の更なる充実を図ります。(拡充)

○オンライン学習サービスの活用を継続し、不登校児童生徒の学習を支援します。

日本語指導等の充実 114,394千円

○小・中学校等において日本語指導を担当する非常勤講師や初期支援員の配置、通訳・翻訳の取組を実施することで、海外帰国・外国人児童生徒のニーズに応じた支援を推進します。

### 市民の文化芸術活動の振興

文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりの推進 855,981千円

○国史跡橘樹官衙遺跡群について、史跡指定地の公有地化、調査研究及び史跡整備を推進します。

○ふるさと納税を活用したクラウドファンディングで古代衣装を制作し、橘樹官衙遺跡群の各種イベントで活用します。(新規)

## 安全で快適な教育環境の整備

学校安全対策の推進と教育環境の整備 732,294千円

(令和4年度補正予算対応 624,529千円)

○地域社会全体で学校の安全確保に取り組み、防犯力の向上や防災教育の充実により、総合的な安全対策を推進します。また、教育環境の向上を目指し、普通教室、特別教室等の空調設備の更新及び新設、バリアフリー化、学校施設の防災機能の強化等を進めます。

- ・エレベータの設置に向けた設計の実施（1校）

学校施設長期保全計画の推進 3,140,097千円

(令和4年度補正予算対応 5,348,772千円)

○「学校施設長期保全計画」に基づき、改修による再生整備・予防保全を実施し、より多くの学校の教育環境の改善と長寿命化による財政支出の縮減を図ります。

- ・実施校数 校舎41校、体育館14校【補正含む】

児童生徒の増加や義務標準法の改正に対応した教育環境の整備 4,466,462千円

(令和4年度補正予算対応 121,858千円)

○児童生徒の増加や35人学級の段階的实施に対応した校舎増築や小学校新設の取組を進めます。

- ・鷺沼小学校及び登戸小学校の校舎増築設計の実施（新規）
- ・新川崎地区の小学校新設に向けた校舎新築工事の実施

## 自ら学び、活動するための支援

生涯学習環境の整備 1,640,454千円

○地域ぐるみで子どもの育ちを支える仕組みづくりを目指し、Kawasaki教室シェアリングプロジェクトやみんなの校庭プロジェクトなど、学校施設の更なる有効活用を推進します。

○既存施設（労働会館）の活用による川崎区の市民館整備に向けて、改修工事等を行います。

○宮前市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転・整備に向けて、基本設計等を行います。

図書館の運営 940,843千円

○新しい生活様式に対応した非接触・非来館型の電子図書館サービスを試行導入します。（新規）

## 学校の教育力の向上

地域等による学校運営への参加促進 9,594千円

○学校・家庭・地域社会が一体となって学校運営に取り組む学校運営協議会を設置する学校（コミュニティスクール）を56校から96校に拡大します。（拡充）

学校運営体制の再構築等 625,331千円

○教職員の負担軽減の推進のため、中学校において教職員事務支援員の勤務時間数を増加します。

また、部活動指導員の複数配置（2名）を中学校13校で実施するとともに、高等学校1校での配置を新たに実施するほか、休日の部活動の地域移行に向けた取組を推進します。（拡充）

## 家庭・地域の教育力の向上

地域の寺子屋事業の推進 126,487千円

○地域ぐるみで子ども達の学習や体験活動をサポートする「地域の寺子屋」を、全小中学校での実施に向けて随時開講します。また、寺子屋先生の養成を図ります。（拡充）

地域における教育活動の推進 45,287千円

○「川崎市子ども会議」等の充実により、子どもの育ちと意見表明を促進します。